

2015年3月27日

各 位

会 社 名	日立キャピタル株式会社
代 表 者 名	執行役社長 三浦 和哉
	(コード番号:8586・東証第一部)
問合せ先責任者	経営企画部 畠山 真和 (TEL:03-3503-2118)

日本政策投資銀行との「業務協力範囲拡大」及び「環境格付融資」のお知らせ -DBJとの業務協力範囲を拡大、「環境格付」最高ランクを2年連続で取得-

日立キャピタル株式会社(執行役社長:三浦 和哉/以下「当社」)は、株式会社日本政策投資銀行(代表取締役社長:橋本 徹/以下「DBJ」)と、インフラ、環境、エネルギー、ヘルスケアにおける情報やナレッジの共有、リスクマネー供給等の金融サービス検討まで含む、広範な業務協力協定を締結しました。

また、当社はDBJが実施する「DBJ環境格付※」において“環境への配慮に対する取り組みが特に先進的”という最高ランクの格付を2年連続で取得し、環境格付融資を受けましたので、併せてお知らせします。

当社は、『社会の持続的発展』に向けて、環境と調和した事業活動を行うという環境方針に基づき、積極的な地球温暖化防止や資源循環に資する取り組みを推進しており、「2015年度中期経営計画」において、国内で成長が見込まれる分野(社会インフラ、環境・再生可能エネルギー、ヘルスケア等)を注力分野と位置づけ、当社グループにおける保険・信託等の機能組み合わせや、日立グループとの連携等により、ソリューションの一括提供をめざして活動しております。

なお、「DBJとの業務協力協定」と『DBJ環境格付』において高い評価を受けた当社の取り組みは、以下の通りです。

■DBJとの業務協力協定

2011年5月に、当社とDBJは震災復興にかかる業務提携を締結し、これまで両社で復興に寄与する金融手法に関する情報の交換等を行ってきました。

しかし、より広範で実効性を高めるため本協定を見直し、両社が強みを有するインフラ、環境、エネルギー、ヘルスケアおよび地域などの分野において、情報やナレッジの共有や、メザニン、投資等のリスクマネー、中長期融資及びリース等の金融サービス提供も含めた業務協力協定を、本日締結し、これらの分野が抱える課題の解決と、それを通じた日本経済の発展に貢献することをめざしていきます。

■「DBJ環境格付」において高い評価を受けた当社の取り組み

- (1) 再生可能エネルギー事業やESCO事業等の環境配慮付帯サービスを推進し、当該サービスの提供によるユーザー側での環境負荷低減効果を定量的に算定している点
- (2) 独自の基準に基づいた選別・仕分け体制や委託処理業者の厳正な管理などによりリース満了品や中古資産の3R体制を整備し、環境汚染の予防と環境負荷の低減に努めている点
- (3) 幅広いCSR(企業の社会的責任:Corporate Social Responsibility)への取り組みを社内外に対し発信するべく、2014年12月より新たにCSR報告書を発行し、情報開示に注力している点

当社は、経営理念である「持続的成長」・「人間尊重」・「企業倫理の実践」の実現こそがCSR活動であると位置づけ、社会とお客さまから求められる金融サービスの創造を通して、より豊かな社会づくりに貢献することをめざして参ります。

※「DBJ環境格付」:DBJが開発したスクリーニングシステム(格付システム)により企業の環境経営を評点化、優れた企業を選定し、得点に応じて3段階の適用金利を選定するという、「環境格付」の専門手法を導入した世界で初めての融資メニュー

以 上